

ともに、現実の感染者に対して各地域・病院において HIV 診療の向上と福祉の連携体制の充実を図ることは重要な課題であり、今後もさらに指導・教育および現況を把握するための調査研究に努めたいと考える。

24～26 年度にわたり、徳島大学、香川大学の各附属病院、香川県三豊総合病院、愛媛労災病院、大洲市立病院などに出向き、さらに県内の拠点病院のスタッフを集め HIV 診療ネットワーク会議として県内の HIV 診療病院と意見交換を行ったが、愛媛県や四国の他県ではいまだ HIV 診療が未経験や少数しか経験していない病院も多く、これらの病院への知識普及・啓蒙として、現在各病院単位での講演会、HIV 診療ネットワーク会議、診療経験の豊富な病院での見学などを着実にやっています。今後もさらに充実させていく必要がある。

また、3 年間を通じ愛媛県の高齢者施設における HIV 感染症等に関する研修会を全県下に呼びかけて開催し HIV 感染者に対する支援者としての自覚を促すことができたことは意義深い。さらに研修会後の実態調査においては、参加者の過半数以上 (50～80%) で「治療等が良好なら不安はない」と恐れが幾分か拭き取れたことおよび 63～77% が施設として受け入れ可能と大半で好意的な意見を得たことは、緊喫の課題である福祉連携の拡大・充実を今後円滑に図り得る可能性が高いと考えられた。

さらにより具体化した福祉連携をめざし、地方で実用的な (愛媛や四国の現況や感染予防内服薬を配備している病院名など具体的に刷り入れた) HIV に関するポケット冊子を作製し四国内の病院・使節に配布した。今後も現場での意見も聞きつつさらに改良した冊子を将来は作製したい。

高齢化にあたり、HIV 診療および福祉連携のあり方について今後も検討を続けて充実を努め、高齢化率の高い愛媛県のような地方においても、早期発見や重症患者の治療が十分に行われるように常々心がけて、エイズが進行し生命の危険が著しい患者を 1 人でも少なくしていくように努めていく必要があると考える。さらにその福祉連携のモデル地域として今後も研究・報告を全国に発信していきたいと考える。

## 結論

24～26 年度の調査・研究を通じ、各病院間および福祉施設との連携を状況把握し発展させるとともに、啓蒙活動を行った。今回の活動および調査では、福祉施設において回答者の過半数以上 (50～80%) で治療等が良好なら不安はない、2/3 以上が施設として受け入れ可能との比較的好結果を得た。また、HIV 感染に対する知識や情報を希望する積極性も多く見受けられた。高齢化が深刻な愛媛県等の地方では、高齢者のエイズ難渋例が比較的多く、福祉連携など県全体で患者のサポート・連携システムを組むのが今まさに緊喫の課題であると考えられた。

## 健康危険情報

該当なし

## 知的財産権の出願・取得状況

該当なし

## 研究発表

### 1. 論文発表

高田清式、四国における HIV 感染症の動向と現状、*医薬の門*、52 : 272-275、2012

Nishijima T, Gatanaga H, Shimbo T, Endo T, Horiba M, Koga M, Naito T, Itoda I, Tei M, Fujii T, Takada K, Yamamoto M, Miyakawa T, Tanabe Y, Mitsuya H, Oka S : Switchig Tenofovir/Emtricitabine plus Lopinavir/r to Raltegravir plus Darunavir/r in patients with suppressed viral load did not result in improvement of renal function but could sustain viral suppression: A Randomized Multicenter Trial. *PLOS ONE* 8: e73639. doi:10.1371/journal. phone.0073639 (2013)

Nishijima T, Takano M, Ishisaka M, Komatsu H, Gatanaga H, Kikuchi Y, Endo T, Horiba M, Kaneda S, Uchiyama H, Koibuchi T, Naito T, Yoshida M, Tachikawa N, Ueda M, Yokomaku Y, Fujii T, Higasa S, Takada K, Yamamoto M, Matsushita S, Tateyama M, Tanabe Y, Mitsuya H, Oka S Abacavir/Lamivudine versus Tenofovir/Emtricitabine with Atazanavir/Ritonavir

for treatment-naive Japanese patients with HIV-1 infection. Intern Med. 52. 735-744. 2013

Watanabe T, Tokumoto Y, Hirooka M, Koizumi Y, Tada F, Ochi H, Abe M, Kumagi T, Ikeda Y, Matsuura B, Takada K, Hiasa Y. An HBV-HIV Co-infected Patient Treated with Tenofovir-based Therapy who Achieved HBs Antigen/ Antibody Seroconversion. Internal Medicine 53 : 1343-1346, 2014

井門敬子、木村博史、田中守、田中亮裕、高田清式、荒木博陽. 薬学部実務実習における抗 HIV 薬模擬服薬体験を取り入れた HIV 実習の評価、日本病院薬剤師会雑誌 50 : 871-875、2014

## 2. 学会発表

村上雄一、本間義人、末盛浩一郎、三好一宏、山之内純、東太地、薬師神芳洋、長谷川均、高田清式、安川正貴、愛媛大学医学部附属病院における HIV 診療の現況。第 86 回日本感染症学会総会、長崎、2012 年 4 月

加藤高英、高田清式、三好一宏、本間義人、村上雄一、末盛浩一郎、安川正貴、総合内科受診を契機に診断された急性 HIV 感染症の 1 例。第 106 回日本内科学会四国地方会、徳島、2012 年 6 月

末盛浩一郎、東太地、村上雄一、本間義人、長谷川均、安川正貴、高田清式、食道リンパ増殖性疾患から判明した高齢者 HIV 感染症/AIDS の 1 例。第 106 回日本内科学会四国地方会、徳島、2012 年 6 月

高田清式、村上雄一、三好一宏、末盛浩一郎、東太地、薬師神芳洋、長谷川均、安川正貴、高次機能障害が ART 治療にて改善した HIV 関連神経認知機能障害患者の 1 例。第 82 回日本感染症学会西日本地方会学術集会、福岡、2012 年 11 月

高田清式、岸田修二、健山正男、仲里愛、田沼順子、飯田敏晴、大金美和、山本政弘、HIV 関連神経認知症 (HAND)、診断の実際と今後の展開。第 26 回日本エイズ学会学術集会・総会 共催セミナー3、神

奈川、2012 年 11 月

松下修三、村上雄一、森岡悠、HAND (HIV 関連神経認知障害) とは? 第 26 回日本エイズ学会学術集会・総会 共催セミナー (昼食付き) 3、神奈川、2012 年 11 月

高田清式、村上雄一、辻井智明、西川典子、野元正弘、三好一宏、末盛浩一郎、東太地、薬師神芳洋、長谷川均、安川正貴、井門敬子、木村博史、荒木博陽、藤原光子、中村真理子、若松綾、岡本愛、西宮達也、髄液中の HIV-RNA 量、ネオプテリン量を経時的に測定した HIV 脳症の 1 治験例。第 26 回日本エイズ学会学術集会・総会、神奈川、2012 年 11 月

井門敬子、木村博史、田中守、荒木博陽、高田清式:6年生薬学部長期実習における HIV 実習の検討。第 26 回日本エイズ学会学術集会・総会、神奈川、2012 年 11 月

西島健、高野操、石坂美千代、瀧永弘之、菊池嘉、遠藤知之、堀場昌英、金田暁、鯉渕智彦、内藤俊夫、吉田正樹、立川夏夫、横幕能行、藤井輝久、高田清式、山本政弘、松下秀三、健山政雄、田邊嘉也、満屋裕明、岡慎一、初期治療でアタザナビル/リトナビルを固定しエプジコムとツルバダ無作為に割付するオープンラベル多施設臨床試験:ETstudy96 週結果。第 26 回日本エイズ学会学術集会・総会、神奈川、2012 年 11 月

村上雄一、高田清式、末盛浩一郎、三好一宏、東太地、薬師神芳洋、長谷川均、安川正貴、髄液中の HIV-RNA 量、ネオプテリン値を経時的に測定した HIV 脳症の 1 症例。第 87 回日本感染症学会学術講演会・第 61 回日本化学療法学会総会 合同学会、横浜、2013 年 6 月

末盛浩一郎、村上雄一、池田宜央、高田清式、安川正貴、EB ウイルス感染との関連が示唆された食道多発潰瘍の 2 例。第 21 回日本消化器関連学会週間、東京、2013 年 10 月

小野恵子、橋本一晃、藤原光子、井門敬子、中尾綾、高田清式、愛媛大学医学部附属病院における MSW 介入事例の現状と課題の一考察。第 27 回日本エイズ学会学術集会・総会、熊本、2013 年 11 月

村上雄一、末盛浩一郎、安川正貴、佐藤裕一、安念 優、高田清式、井門敬子、森健一郎、HIV 感染症に潰瘍性大腸炎を合併した一症例。第 27 回日本エイズ学会学術集会・総会、熊本、2013 年 11 月

高田清式、村上雄一、末盛浩一郎、安川正貴、辻井智明、西川典子、木村博史、井門敬子、中村真理子、藤原光子、中尾綾、小野恵子、HIV 関連神経認知障害 (HAND) における髄液中の HIV-RNA 量、ネオプテリン量の測定。第 27 回日本エイズ学会学術集会・総会、熊本、2013 年 11 月

高田清式、村上雄一、末盛浩一郎、中西英元、辻井智明、西川典子、木村博史、井門敬子、藤原光子、中村真理子、中尾綾、小野恵子、若松綾、HIV 関連神経認知障害 (HAND) および他神経疾患における髄液中のネオプテリン量の測定と比較。第 28 回日本エイズ学会学術集会・総会、大阪、2014 年 12 月

中尾綾、中村真理子、藤原光子、小野恵子、若松綾、木村博史、井門敬子、中西英元、村上雄一、末盛浩一郎、安川正貴、高田清式、当院における HIV 陽性患者への支援—心理面接と神経心理学的検査を通して。第 28 回日本エイズ学会学術集会・総会、大阪、2014 年 12 月

中村真理子、藤原光子、川上真理子、中尾綾、木村博史、井門敬子、小野恵子、村上雄一、末盛浩一郎、高田清式、当院における HIV 感染症患者の喫煙状況と禁煙指導の現状。第 28 回日本エイズ学会学術集会・総会、大阪、2014 年 12 月

渡辺崇夫、高田清式、徳本良雄、末盛浩一郎、村上雄一、日浅陽一、当院の HIV 陽性者における HBV 共感染の現状。第 28 回日本エイズ学会学術集会・総会、大阪、2014 年 12 月

## 13

## 地域HIV看護の質の向上に関する研究

研究分担者：佐保美奈子（大阪府立大学 看護学部）

研究協力者：伊藤ヒロ子（公益社団法人大阪府看護協会 会長）

堀内 淑子（公益社団法人大阪府看護協会 専務理事）

中垣 郁代（公益社団法人大阪府看護協会 教育部）

古山 美穂（大阪府立大学 看護学部）

工藤 里香（兵庫医療大学 看護学部）

高知 恵（大阪府立大学 看護学部）

山田加奈子（大阪府立大学 看護学部）

北川未幾子（大阪府立大学 看護学部）

西口 初江（羽衣国際大学 人間社会学部）

澤口智登里（大阪市北区保健福祉センター）

下司 有加（国立大阪医療センター 看護部）

王 美玲（大阪市立総合医療センター 看護部）

三田 洋子（市立堺病院 看護局）

下井 エミ（大阪府立・急性期総合医療センター 看護部）

久光 由香（近畿大学附属病院看護部 感染症看護専門看護師）

大野 典子（日生病院看護部 感染症看護専門看護師）

橋本 美鈴（大阪府立呼吸器・アレルギー医療センター 感染管理認定看護師）

中村ゆかり（大阪府済生会 富田林病院 看護部）

熊谷 祐子（新世病院 看護部）

泉 柚岐（関西社会福祉専門学校）

鈴木 光次（藍の都脳神経外科病院 看護部）

池田麻衣子（大阪府立大和川高等学校・大阪府教育センター附属高等学校 養護教諭）

眞弓 靖子（大阪府立緑風冠高等学校 養護教諭）

賀登さおり（大阪府立成美高等学校 養護教諭）

繁内 幸治（BASE KOBE 代表）

武長 純子（特定非営利活動法人ピープルズホープジャパン）

## 研究要旨

『エイズ看護の在り方に関する研究（平成21～23年度）』に続き、『地域HIV看護の質の向上に関する研究』に取り組んだ3年間であった。大阪府看護協会教育委員会の委員長をしているということから、この研究に関わることになった。HIVに関する知識・経験ともにゼロからの出発をし、自分がこの研究にどう関わっていけばよいのか、自問しながら過ごした。看護職全体のボトムアップと若者へのHIV感染予防教育、看護職のネットワーク作りなど次第に「地域HIV看護」のイメージが見えてきたところである。毎年1つずつ、教育研修用DVDを企画製作した。次年度以後の課題として、①看護職のボトムアップ 体験的に学んで、心が動く研修とネットワーク作り、②HIVサポートリーダーによる高校生への予防啓発、③中高養護教諭の研修、④介護職へのアプローチが明確になった。

## 研究目的

大阪府をモデル地域として、拠点病院看護師の

HIV看護の質の向上と一般病院、その他の看護職に  
HIV感染症の知識獲得と認識の向上を図る。

## 実践研究内容

## 【平成 24 年度】

1) 3 日間の HIV サポートリーダー養成研修を 2 回開催した。3 日目の研修終了後に堂山地区の散策・ダイバーでの食事会を行い、ほとんどの研修受講者が参加し、性の多様性への理解が深まった。

3 日間という短期間でありながら、セクシュアリティや HIV 陽性者に対する意識が変わり、自分自身の問題としてとらえるところまで態度の変化があった。3 日間の研修をすべて受講したものには、大阪府看護協会長から研修受講証明書を発行した。

アクティビティという楽しい要素を取り入れることによって、自己開示や他者の多様性や個性を受容することができ、受講生の連帯感も高まった。社会全般からはなじみの少ない HIV/エイズ看護に向き合うためには、仲間からの支援が必須である。

第 5 回目の研修では、受講生合計 18 名中 8 名が大学 4 年生であった。看護の仕事をする前の学部生のうちに「早期体験 (Early Exposure) 学習」として HIV サポートリーダー養成研修の受講は効果があった。受講生のほとんどは大阪府内の拠点病院に就職が決まっており、受講している他の看護師たちの交流も意義が大きかった。今後も受講生の 3 分の 1 程度は、学部生が占めるように働きかけたい。

エイズ看護には、他の分野の看護にはない専門性があるが、同時に看護の土台ともなるセクシュアリティの多様性の尊重やプライバシーの保護、守秘義務、スタンダードプリコーション、チーム医療などの要素も大きい。エイズ看護に関する研修受講は、看護者にとっては看護の基本に立ち返るきっかけにもなり、日常の看護業務の遂行にあたっても有益である。

2) 院内研修向け DVD 教材『看護のプロとして知っておきたい 10 のこと』を企画・製作した。

① 12 月に、平成 24 年度大阪府看護協会 地域保健福祉事業部研修会として、『HIV 看護から学べること』というテーマで講演をおこなった。

② 1 月に、市立枚方市民病院の職員人権研修として、『HIV/AIDS 予防とケア』というテーマで

講演をおこなった。

3) 高校生への出前講義

10 月に大阪府立 A 高校、11 月に大阪府立 B 高校において、『HIV 予防講座』というテーマで高校 3 年生を対象に DVD を使用した出前講義を実施した。

4) 看護学生・看護職への講演

5) 男性看護師会へのアピール

男性の研究班メンバーを通して、大阪府看護協会男性看護師会のミーティングで、HIV サポートリーダー養成研修について案内を行った。

6) 1 月に、大阪府教育委員会 平成 24 年度 児童・生徒の発達段階に応じた「性に関する指導」普及研修において、「性に関する指導について」というテーマで、小中高校教諭 320 名を対象に講演をおこなった。

7) 3 月にジェクス株式会社の篠山工場において、研究協力者と第 4 回・5 回の研修受講生を対象にコンドーム製造工程や品質チェック方法、販売戦略などの研修を行なった。

## 【平成 25 年度】

1) 3 日間の HIV サポートリーダー養成研修を 2 回開催した。

2) 大阪 HIV ナースネットワーク会議を立ち上げた。HIV 看護は拠点病院であっても、なじみが薄く、気軽に症例について質問ができる場として、有意義であった。HIV サポートリーダー養成研修後のフォローアップとしても活用していく。

3) 高校生への出前講義

今年度は、大阪府内高等学校への出前講義を 11 校に実施した。研究班で独自に作成した DVD 教材「本気で CONDOMING」やスライドを用いて、おつきあいのマナー・同性愛の理解・STI 予防・HIV 検査について講義をおこない、高校教員や生徒からよい評価を得た。3 日間研修以後に講師として参加する看護職が 4 名に増加した。

4) 養護教諭対象の研修の実施

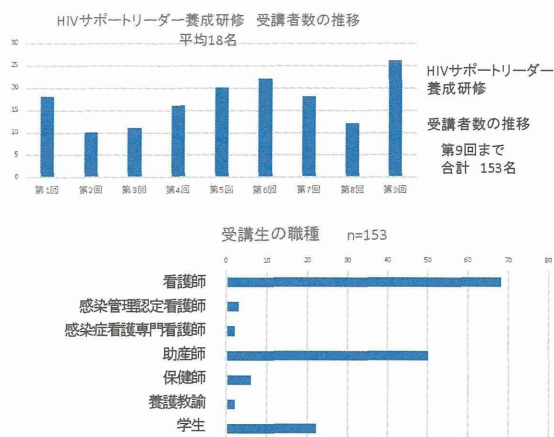
10 月に、大阪府教育委員会 平成 25 年度児童・生徒の発達段階に応じた「性に関する指導」における指導者養成研修において、「助産師から見た性に関する指導の必要性」というテーマで、小中高校教諭 20 名を対象に講演をおこなった。

5) 養護教諭向け DVD 教材『養護教諭として知って

おきたい10のこと』を企画・制作した。

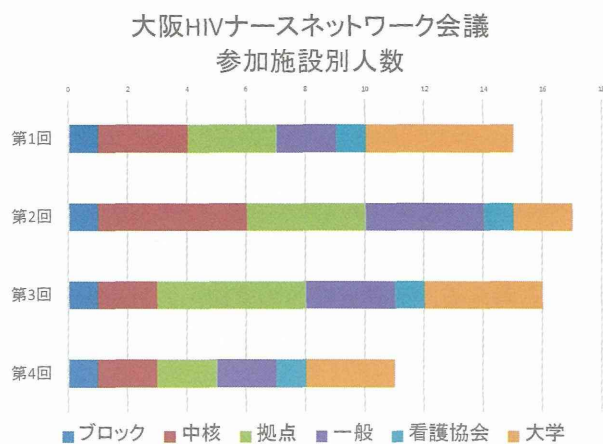
#### 【平成26年度】

- 1) 合計9回開催した3日間のHIVサポートリーダー養成研修の内容を、研修後のアンケート調査により検討した。これまでに153名の修了生を輩出した。



- 2) 2回の大阪HIVナースネットワーク会議において、HIV看護についての情報交換と症例について検討した。

参加者の所属施設は下図に示すように、拠点病院が半数以上を占めた。



HIV看護は拠点病院であっても、なじみが薄く、気軽に症例について質問ができる場として、有意義であった。

- 3) 高校生への出前講義

今年度は、大阪府内高等学校への出前講義を15校に実施した。研究班で独自に作成したDVD教材「本気で CONDOMING」やスライドを用いて、おつきあいのマナー・同性愛の理解・STI予防・HIV検査について講義をおこなった。3日間研修以後に講師・アシスタントとして参加する看護職が増加した。

HIV予防講座は、高校生がHIVを含む性感染をひとごとではなく自分自身の問題として捉え、HIV陽性者への支援にまで言及されていた。また、将来の恋愛・結婚・出産をイメージしておつきあいについて考える機会になっていた。

- 4) 介護職向けのDVD制作について検討・企画・制作した。

HIV感染は医学の進歩によって、慢性疾患の一つになり、適切な治療を継続することによって、HIV陽性者が寿命を全うできるようになった。そのHIV陽性者の高齢化により、介護福祉施設に入所を希望するものが増加することが考えられる。介護福祉施設がHIV陽性者のケアについて理解し、受け入れがスムーズになるように、教育・研修が必要である。

- 5) ティーンズを支援する人のための研修」を企画実施し、看護職・養護教諭など37名が参加した。
- 6) 大阪エイズウィーク2014のイベント企画・実施  
イベントタイトルは「地域で取り組むHIV看護予防からケアまで」で、DVDの上映の合間に、おつきあいのマナーかるたを用いたゲームやディスカッションシートを用いた話し合いをおこない、楽しく必要な知識をゲットできる機会を提供した。
- 7) 養護教諭対象の講演会・研修会の実施、DVD教材の配布を行なった。

大阪府立高等学校養護教諭部会の幹事長に視聴していただき、幹事会・役員会で検討の結果、大阪府内の全高等学校、全支援学校に配布することを決定された。その後、大阪府立高等学校養護教諭部会の9つの地区と支援学校部会を通して、平成26年9月～11月に配布された。

11月に大阪私立学校保健大会において、「自分を大切に生と性の教育」、12月に大阪府立高等学校養護教諭研究会、支援学校部会講演会において、「さまざまな病気や障がいを持つ子どもたちの『性』を考える」というテーマで講演をおこない、私立学校・支援学校との連携を継続したい。

#### 考察

- 1) 公益社団法人大阪府看護協会との協働

大阪府看護協会はHIV感染について社会が混乱していた早期からHIV看護への取り組み、HIV陽

性者への訪問看護を含めて重点課題に挙げていた。研究協力者として会長・専務理事・教育部教員が入り、班会議・ネットワーク会議・HIV サポートリーダー養成研修などをバックアップしていただき、支部理事会を通して各支部への情報伝達のラインが機能している。

HIV 診療拠点病院ではなく、HIV 専門医がいなくても HIV 検査をしている限り、初期対応ができることを目標に今後も研修を継続し、看護職のボトムアップを図る。看護職対象の院内研修については、将来的には拠点病院の看護職が自施設や地域の病院・クリニックを対象に研修を実施できるように進めたい。

## 2) HIV 感染予防 高等学校での出前講義の実際

高等学校の近くにある病院に勤務する看護師が講演をおこなうことは、高校生にとって看護という職業を知る機会にもなり、講師を務める看護師にとっても「看護のやりがい・満足・達成感」をもたらし、健康な高校生との関わりは看護観の広がりや深まりにもつながっている。

高校生への出前講座については、現在 15 校でおこなっているが、さらに実施校を増加できるように、講師の養成に力を入れたい。

## 結論（次年度の課題）

- ① HIV サポートリーダー養成研修は、今後も 6 月末・10 月末に実施し、看護職・養護教諭・看護学部生・介護職の参加を促進し、受講対象を、大阪府から近畿ブロック・全国に拡大することが必要である。
- ② 大阪 HIV ナースネットワーク会議を 7 月・11 月に開催し、HIV サポートリーダー養成研修修了生のフォローアップと症例検討やプロジェクトチーム活動についての相談の場として活性化することができた。
- ③ 養護教諭を対象に、DVD 教材『養護教諭として知っておきたい 10 のこと』を使用した研修が今後必要である。
- ④ 高校生への出前講義を引き続き実施し、大阪府教育委員会との連携強化をはかった。
- ⑤ 介護職向けの DVD 教材を使用し、介護支援専門員研修で使用する。介護福祉施設で勤務する看護

職への教育・研修について企画・実施することが重要である。

- ⑥ （公社）大阪府看護協会、大阪府内 HIV 診療拠点病院、大阪府健康医療部 保健医療室 医療対策課 感染症グループなどとの連携を強化し、上記①～⑤を推進することが今後の課題である。

## 健康危険情報

該当なし

## 知的財産権の出願・取得状況

該当なし

## 研究発表

### 1. 論文発表

佐保美奈子：病院職員対象の人権研修において、HIV/AIDS を取り上げる意義、人権教育研究（14）：119-124、2014 年

佐保美奈子、古山美穂、椿知恵、山田加奈子：高校生の発達段階に応じたデートバイオレンス予防についての出前講義の試み～おつきあいのマナーかるた、ディスカッションシートを使用して～、大阪母性衛生雑誌、Vol. 50 No. 1、31-34、2014 年

椿知恵、山田加奈子、古山美穂、佐保美奈子：勤務看護職の高校生への出張による性教育活動ー「体験」から考える、活動継続への支援一、日本看護学会論文集、44 号、361-364、2014 年

古山美穂、佐保美奈子、豊田百合子、畑井由美子、泉柚岐、飯沼恵子、澤口智登里、熊谷祐子、下司有加：エイズ看護及び教育に対する看護管理者のニーズ、日本看護学会論文集：vol. 42, 268-271、2012 年

古山美穂、佐保美奈子、豊田百合子、畑井由美子、泉柚岐、飯沼恵子、澤口智登里、熊谷祐子、下司有加：エイズ看護及び教育に対する看護職者のニーズ、日本看護学会論文集：vol. 42, 272-275、2012 年

### 2. 学会発表

Yamada K, Saho M, Furuyama M, Tsubaki C :

Measures to Train HIV Support Leaders in Osaka, Japan. The 35th International Conference of Human Caring in Kyoto, May 2014

Yamada K, Saho M, Furuyama M, Tsubaki C: Safe Dating Program for High School Students. The 35th International Conference of Human Caring in Kyoto, May 2014

山田加奈子、椿知恵、古山美穂、佐保美奈子、吉田朋未、宮川祐三子：看護職者が高校生に伝えたいセクシュアリティ、恋愛、結婚に関する価値観。第 55 回日本母性衛生学会学術集会(千葉)、2014 年 9 月

古山美穂、佐保美奈子、山田加奈子、椿知恵、吉田朋未、宮川祐三子：知情意を育む工夫を凝らした性教育実践と高校生の評価。第 55 回日本母性衛生学会学術集会(千葉)、2014 年 9 月

佐保美奈子：地域 HIV 看護の質の向上に関する研究 6 年間の取り組み。エイズ予防財団 研究成果発表会、2014 年 11 月

佐保美奈子、古山美穂、山田加奈子、椿知恵、工藤里香：大阪 HIV ナースネットワーク会議からの提言。第 28 回日本エイズ学会(大阪)、2014 年 12 月

佐保美奈子、古山美穂、山田加奈子、椿知恵、工藤里香：HIV サポートリーダー養成研修の課題と展望。第 28 回日本エイズ学会(大阪)、2014 年 12 月

山田加奈子、佐保美奈子、古山美穂、椿知恵、工藤里香、HIV サポートリーダー養成研修の取り組み—研修にアクティビティーを取り入れた効果—、第 27 回 近畿エイズ研究会 in 大阪、2013 年 6 月

佐保美奈子、病院での人権研修において HIV/AIDS から学べること、日本人権教育研究学会第 14 回大会(神戸)、2013 年 8 月

椿知恵、山田加奈子、古山美穂、佐保美奈子、勤務看護職の高校生への出張による性教育活動—「体験」から考える、活動継続への支援—、第 44 回日本看護学会(看護管理)、2013 年 9 月

山田加奈子、椿知恵、古山美穂、佐保美奈子、勤務看護職の高校生への出張性教育活動—参加の意義と活動がもたらす成果—、第 54 回日本母性衛生学会学術集会、2013 年 10 月

佐保美奈子、鈴木光次、古山美穂、椿知恵、山田加奈子、エイズ予防講座からの高校生の学び、第 27 回 日本エイズ学会(熊本)、2013 年 11 月

椿知恵、佐保美奈子、古山美穂、山田加奈子、工藤里香、HIV サポートリーダー養成研修での新たな試み ～実地見学を通して得られる体験～、第 27 回 日本エイズ学会(熊本)、2013 年 11 月

Saho M, Furuyama M, Yamada K, Tsubaki C, Rika Kudo: Satisfaction and difficulties for nurses caring HIV/AIDS patients, The 9th International Conference of the Global Network of WHO Collaborating Center, Kobe, 201207

Furuyama M, Saho M, Tsubaki C, Yamada K, Kudo R: Safe-dating workshop for High school students, The 9th International Conference of the Global Network of WHO Collaborating Center, Kobe, 201207

工藤里香、佐保美奈子、古山美穂、山田加奈子、椿知恵：HIV サポートリーダー養成研修の試み ～価値観・倫理観を涵養する教育を目指して～、近畿エイズ研究会、神戸、第 26 回近畿エイズ研究会・学術集会、神戸、201207 学術賞受賞

Rika Kudo, Minako Saho, Miho Furuyama, Kanako Yamada, Chie Tsubaki: Developing an HIV support leader training program for nursing professionals in Japan, The 12th Asia Oceania Congress of Sexology, 201208



研修用教材 地域 HIV 看護の質の向上に関する研究

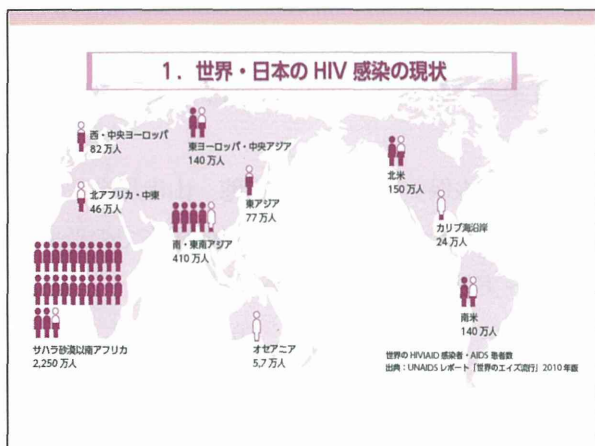


**看護のプロとして、知っておきたい10のこと**

用語の確認

**HIV**  
Human Immunodeficiency Virus

**AIDS**  
Acquired Immune Deficiency Syndrome




**2. 大阪府における HIV 感染症・エイズの現状**

<大阪府 平成 23 (2011) 年 12月 31日時点>

- ・ HIV 感染者報告数は全国第 2 位
- ・ 年齢別報告者は 20 歳から 30 歳代が約 72 %
- ・ 感染経路は、性的接触によるものが大部分
- ・ 感染経路の 81% は、男性同性間の性的接触
- ・ 「いきなりエイズ」は増加傾向
- ・ 過去 10 年間における献血者にかかわる HIV 陽性率は全国第 1 位

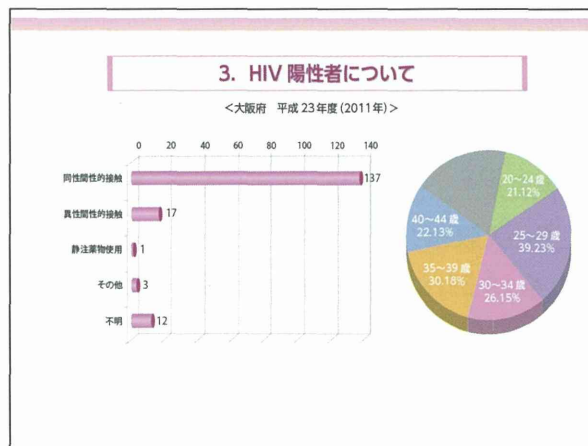
**極限感染期**

MSM (Men who have sex with men) に偏在



**一般感染期**

府民全体に広がる時期



**4. 性的指向の多様性**

- ・ 異性愛 (Heterosexual)
- ・ 同性愛 (Homosexual)
- ・ 両性愛 (Bisexual)
- ・ 非性愛 (Nonsexual)
- ・ 無性愛 (Asexual)

**5. HIV の感染経路**



性感染

血液感染

母子感染

### 性感染

精液・膣分泌液・血液



**感染のリスク 肛門性交 > 膣性交**

### 血液感染

注射器・注射針の共用による  
麻薬や覚せい剤の回し打ち



**医療現場における針刺し事故**

### 母子感染

出産時の産道感染  
母乳哺育による感染胎内感染




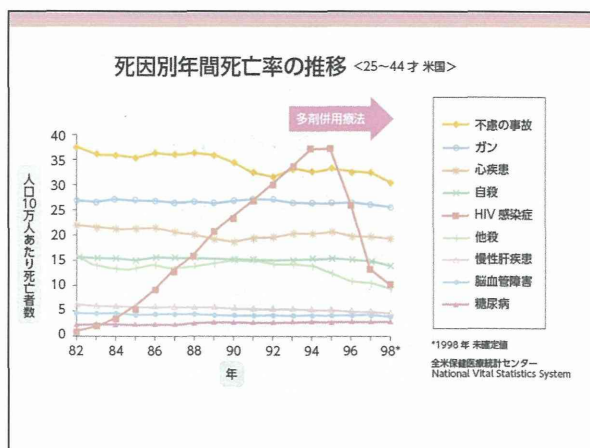
- (1) 妊娠初期の HIV 感染診断
- (2) 妊娠中の抗 HIV 療法
- (3) 選択的帝王切開術
- (4) 帝王切開時の AZT 点滴投与
- (5) 出生児への AZT シロップ予防投与
- (6) 出生児への人工乳哺育

**予防処置により、  
母子感染率は 0.5% 未満**

### 6. 大阪府の HIV の診療体制について


ブロック拠点病院	大阪医療センター
中核拠点病院	大阪市立総合医療センター 市立堺病院 大阪府立急性期・総合医療センター
拠点病院	国立大阪南医療センター 国立近畿中央胸部疾患センター 国立刀根山病院 大阪大学医学部附属病院 大阪市立大学医学部附属病院 大阪医科大学附属病院 関西医科大学附属病院 近畿大学医学部附属病院 大阪府立呼吸器・アレルギー医療センター 東大阪市立総合病院 りんくう総合医療センター 市立泉佐野病院 星ヶ丘厚生年金病院

### 7. HIV の治療

### 抗 HIV 薬

- ・ 核酸系逆転写酵素阻害薬
- ・ 非核酸系逆転写酵素阻害薬
- ・ プロテアーゼ阻害薬
- ・ インテグラーゼ阻害薬
- ・ 侵入阻止薬



- ・ 原則として 3 剤以上を投与する強力な多剤併用療法で開始する
- ・ 血中ウイルス量 (HIV RNA 量) を検出限界以下に抑え続ける
- ・ 免疫能のいくつかの指標が改善しても治療を中止しない

### 1 日服薬数の推移



1996 年頃



### 8. HIV 感染の予後

- HIV 感染=エイズではありません
- HIV 感染=死ではありません
- HIV 感染=人生の終わりではありません

### HIV 感染症の経過

ウィンドウ期 (~3か月)	無症候性キャリア期 (数か月から約10年)	エイズ発症期
感染初期は感冒用症状	症状が出ない時期	免疫不全の状態ですさまざまな重篤な症状が出現
感染から約3か月間は、HIV抗体検査が陰性になる可能性がある	期間は個人差が大きい	エイズ脳症などの後遺症が残る場合もある

### HIV感染細胞の寿命

長寿細胞の寿命から計算すると服薬期間は60年以上!!

1年間の治療費：約200~300万円  
生涯で約1~2億円（健康保険、助成制度も使える）

### 9. 初期対応について

- 初診時は、不安の軽減をはかり、プライバシーの保護に努める
- 安心して話せる環境をつくる
- HIV 診療拠点病院の紹介
- NGO などのサポートについて紹介

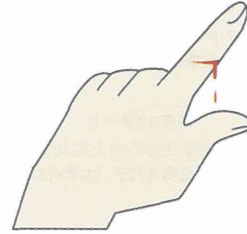
### 10. 職業感染予防について

- 血液・体液の扱いや器具の消毒は、**B型肝炎に準じておこなう**
- 手袋やフェイスシールドなどの个人防护具を適切に使用するなど、標準予防策で暴露を防ぐことができます。



### 10. 針刺し事故について

- 標準予防策を徹底しても血液暴露を完全に防止することは困難です。



#### 血液暴露を防ぐ方法＝標準予防策

- 適切な針の取り扱い
- 適切な个人防护具の着用

#### 針刺し・切創が起きた場合の対応

- 針刺しまたは切創部を石鹼と水で直ちに洗い流す
- 皮膚は石鹼と流水でしっかり洗います
- 鼻や口はきれいな水で何度もうがいします
- 目は生理食塩水でしっかり洗浄します
- 暴露者が HIV 陽性であった場合、抗 HIV 薬の予防内服を検討する＝専門医に相談する

#### HIV 陽性患者の血液による針刺し・切創

血液暴露による感染症の発生率

HBV	30%
HCV	3%
HIV	0.3%

#### 感染症を発生しないための方法

- 血液暴露を起さない
- 血液暴露が起きた場合の対応

#### 針刺し・切創後の感染のリスク評価

- 血液の暴露量
- 感染源となった患者の HIV の重症度
- 予防内服による副作用や日常生活への影響

予防内服 決定

抗 HIV 薬の予防内服は専門医に相談し、薬剤の副作用や感染のリスクを十分理解したうえで、自己決定することが大切です。



予防内服  
4週間

HIV 抗体検査

HIV 抗体検査

HIV 抗体検査

2時間以内

6週後

12週後

6か月



Osaka Prefectural Government

#### 一般病院における針刺し事故時の HIV 感染予防に対する受け入れ病院一覧

<平成 24 年 4 月 1 日現在>

<http://www.pref.osaka.jp/chikikansen/aids/harisasi.html>

医療従事者の針刺し事故後、HIV 感染の有無が確認されるまでの期間に行われた抗 HIV 薬の投与は労災保険が適用されます。

#### HIV サポートリーダー養成研修受講者募集

##### 期待される役割

- HIV 陽性判明時の初期対応
- 施設における HIV プロジェクトチーム活動
- 地域の病院スタッフへの啓発
- 高校生への HIV 予防啓発出前講義



この教材は、以下の研究助成を受けて製作されました

平成 24 年度厚生労働科学研究費補助金エイズ対策研究事業  
HIV 感染症およびその合併症の課題を克服する研究班 (指定型)  
研究代表者 白阪琢磨 (国立大阪医療センター)

研究分担テーマ  
地域 HIV 看護の質の向上に関する研究  
研究分担者 佐保美奈子 (大阪府立大学)

研究協力者

伊藤ヒロ子	(公益社団法人大阪府看護協会 会長)
堀内淑子	(公益社団法人大阪府看護協会 専務理事)
堀井由美子	(公益社団法人大阪府看護協会 教育部)
古山美穂	(大阪府立大学看護学部)
工藤直香	(兵庫医科大学看護学部)
樽知恵	(大阪府立大学看護学部)
山田加奈子	(大阪府立大学看護学部)
瀬口智恵里	(大阪府保健所)
下町有加	(大阪医療センター 看護部)
王美希	(大阪府立総合医療センター 看護部)
三田洋子	(市立府病院 看護局)
下井エミ	(大阪府立・急性期総合医療センター看護部 看護部)
久光由香	(大阪府立呼吸器・アレルギー医療センター 看護部 感染看護 CNS)
大野典子	(白生病院 看護部 感染看護 CNS)
熊谷祐子	(医療法人三杉会 岡山病院 看護部)
泉絵紙	(医療法人手島会 手島病院 看護部)
鈴木光次	(医療法人孟仁会 東大阪山崎病院 看護部)
池田麻衣子	(大阪府立大和川高等学校・大阪府教育センター附属高等学校養護教諭)
眞弓晴子	(大阪府立東高等学校養護教諭)
眞倉さおり	(大阪府立成美高等学校養護教諭)
葉内幸治	(BASE KOBE 代表)
須見彰	(ピープルズホープジャパン)
武長純子	(ピープルズホープジャパン)

研修用教材 地域 HIV 看護の質の向上に関する研究

養護教諭として、知っておきたい10のこと

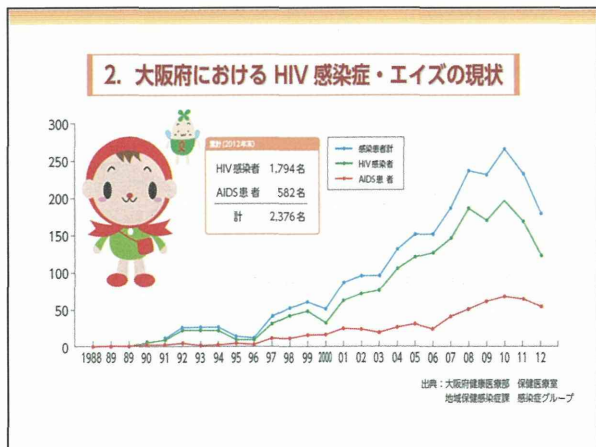
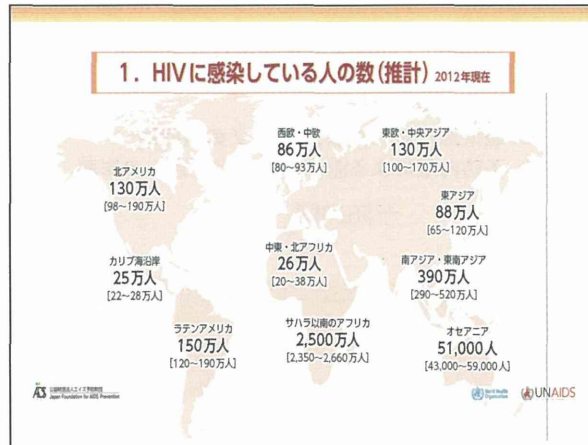
先生どうしよう…

- ・誰にも言わんといてください
- ・先生、僕、エイズかもしれない
- ・先生、僕、エイズやったんです

用語の確認

**HIV**  
Human Immunodeficiency Virus

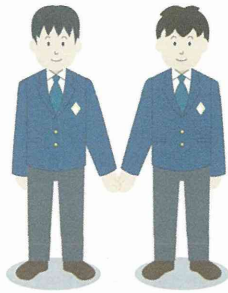
**AIDS**  
Acquired Immune Deficiency Syndrome



3. 性的指向の多様性

- ・異性愛 (Heterosexuality)
- ・同性愛 (Homosexuality)
- ・両性愛 (Bisexuality)
- ・非性愛 (Nonsexuality)
- ・無性愛 (Asexuality)

男性同性愛者 (ゲイ) について

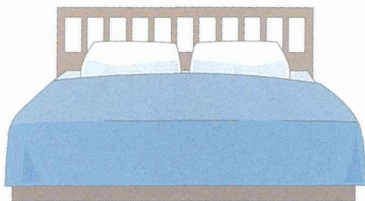


4. HIVの感染経路



性感染

精液・膣分泌液・血液



感染のリスク 肛門性交 > 膣性交

血液感染

注射器・注射針の共用による  
麻薬や覚せい剤の回し打ち



医療現場における針刺し事故

母子感染

産時の産道感染  
母乳哺育による感染胎内感染



- (1) 妊娠初期の HIV 抗体検査実施
- (2) 妊娠中の抗 HIV 療法
- (3) 陣痛発来前の選択的帝王切開
- (4) 帝王切開時の抗 HIV 薬点滴投与
- (5) 出生児への抗 HIV シロップ予防
- (6) 出生児への人工乳哺育

予防処置により、  
母子感染率は 0.5%未満

HIV 感染の予防について

- ・他人の血液を素手で触らない!
- ・カミソリ, 歯ブラシ, ピアスなど、  
血液のつきやすいものを共用しない!
- ・性行為では、コンドームを使用  
精液・膣分泌液・血液に直接触れない!



5. HIV の検査について



- ・大阪検査相談・啓発・支援センター  
(愛称 = chotCAST なんば)
- ・保健所
- ・保健センター

6. 大阪府の HIV の診療体制について

ブロック拠点病院	国立大阪医療センター
中核拠点病院	大阪府立総合医療センター 市立堺病院 大阪府立急性期・総合医療センター
拠点病院	国立大阪南医療センター 国立近畿中央胸部疾患センター 国立刀根山病院 大阪大学医学部附属病院 大阪市立大学医学部附属病院 大阪医科大学附属病院 関西医科大学附属病院 近畿大学医学部附属病院 大阪府立呼吸器・アレルギー医療センター 東大阪市立総合病院 りんくう総合医療センター 市立泉佐野病院 墨ヶ丘厚生年金病院

## 7. HIVの治療



### 抗 HIV 薬

- ・核酸系逆転写酵素阻害薬
- ・非核酸系逆転写酵素阻害薬
- ・プロテアーゼ阻害薬
- ・インテグラーゼ阻害薬
- ・侵入阻止薬



- ・原則として3剤以上を投与する強力な多剤併用療法で開始する
- ・血中ウイルス量 (HIV RNA量) を検出限界以下に抑え続ける
- ・免疫能のいくつかの指標が改善しても治療を中止しない

### 1日服薬数の推移



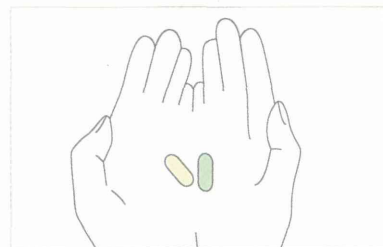
### 1日服薬数の推移



### 1日服薬数の推移



### 1日服薬数の推移



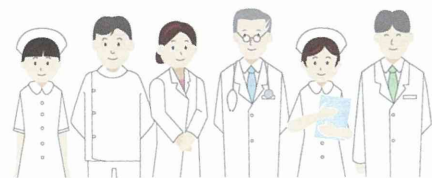
### 1日服薬数の推移

1日1回1錠



### HIV 治療継続への支援

拠点病院には、  
HIV 専門の医師・看護師・薬剤師  
臨床心理士・ソーシャルワーカーがいます。



### 8. HIV 感染の予後

- HIV 感染 = エイズではありません
- HIV 感染 = 死ではありません
- HIV 感染 = 人生の終わりではありません



### HIV 感染症の経過

ウィンドウ期 (数週間)	無症候性キャリア期 (数カ月から約 10 年)	エイズ発症期
感染初期は感冒用症状	症状が出ない時期	免疫不全の状態ですまざまな重篤な症状が出現
感染から数週間は、HIV 検査が陰性になる可能性がある	期間は個人差が大きい	エイズ脳炎などの後遺症が残る場合もある

### 9. HIV 感染について相談されたら



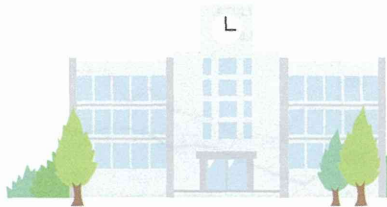
### HIV 陽性の高校生への支援

- ① 学校への告知
- ② 親への告知
- ③ 将来に関する漠然とした不安  
(進学・就職・セックス・結婚・余命・治療費)

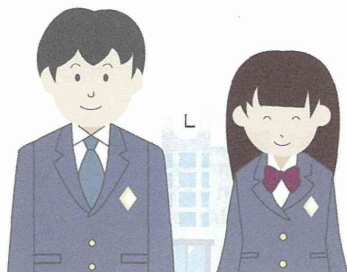
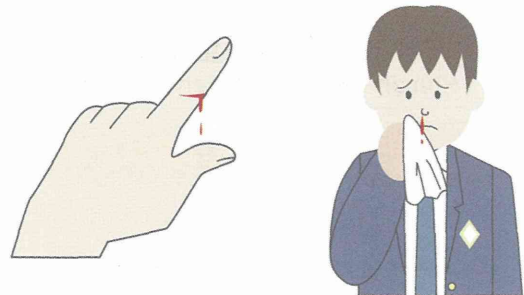


### HIV 陽性者の学校生活について

- プライバシーの保護
- 守秘義務
- 通院
- 服薬
- 実習や実技教科
- 学校行事参加

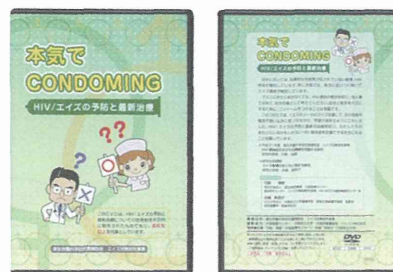


### 出血をとまなうケガや鼻血の手当て



- 今までの生活指導に加えて、通院と服薬支援
- 高校卒業とそれ以後の人生を応援し続ける

### 10. 高校生への HIV 予防講座





### HIV/エイズを知るためのクイズ

**Q1** HIVは普通の人の日常生活では感染しない  
**YES** **NO**

**Q2** HIVは予防がむずかしい病気です  
**YES** **NO**

**Q3** HIVは特定の相手との、愛のあるセックスでは感染しない  
**YES** **NO**

**Q4** HIV検査が陰性だったら、コンドームは必要ない  
**YES** **NO**

**Q5** HIVに感染しても、今までどおりの生活ができる  
**YES** **NO**

### HIV サポートリーダー養成研修受講者募集

期待される役割

- ① HIV 陽性判明時の初期対応
- ② 施設における HIV プロジェクトチーム活動
- ③ 地域の病院スタッフへの啓発
- ④ 高校生への HIV 予防啓発




研修用教材 地域HIV看護の質の向上に関する研究



### 介護職として、知っておきたい10のこと

### HIV感染と人権



- ・1998 (平成10) 年 「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」

誤った知識や偏見などにより、HIVへの感染を理由に退職の勧告、入園・入学の拒否、医療現場における診断拒否や無断検診などさまざまな差別や人権侵害が起っています

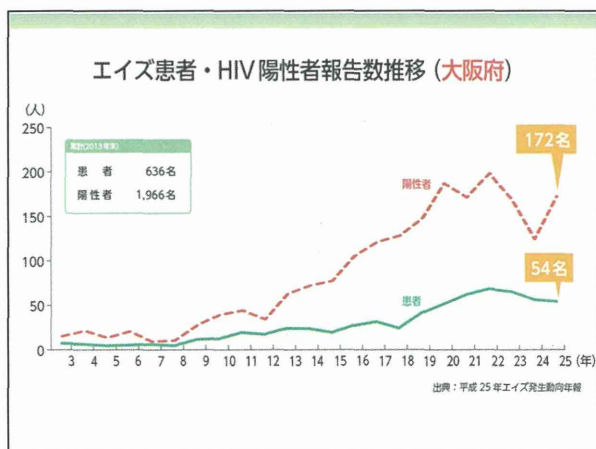
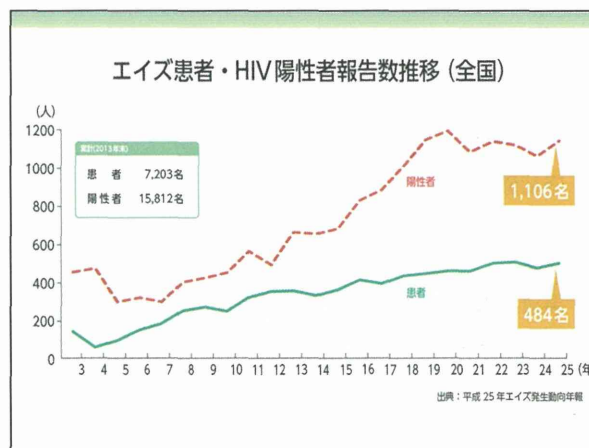
出典：「大阪府人権施策の事業実施計画及び実施状況」(平成 25 年度版)

### 用語の確認

**HIV** : ヒト免疫不全ウイルス  
 Human Immunodeficiency Virus

**HIV陽性者**

**AIDS** : エイズ  
 Acquired Immune Deficiency Syndrome



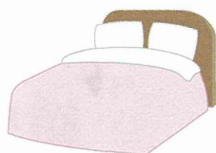
### 1. HIVはどこにいますか？

感染力のある体液 → 体液が粘膜にふれると感染する可能性がある。 → 入り口となる粘膜

血液、精液・カウパー液、ちつ液、ペニスの先(尿道口)、くち(ちつ)

便・尿・汗・涙・咳・くしゃみの中には、感染源になるだけの HIV はいません

## 2. HIV 感染の機会



- ・ 性行為の相手でない限り、感染しない
- ・ 通常の介護場面で、標準予防策を守っていれば HIV に感染することはない

## こんなことでは感染しない



出典：イルファア創設

## HIV に感染したときの症状

- ・ 感染から数週間以内インフルエンザに似た症状
- ・ 免疫が弱ってくると皮膚にブツツカンジダ（口やのどに白いカビ）帯状ヘルペス肺炎、血便など



## 3. HIV 感染の予防について

- ・ 他人の血液を素手で触らない！
- ・ カミソリ、歯ブラシ、ピアスなど、血液のつきやすいものを共用しない！
- ・ 性行為では、コンドームを使用  
精液・陰分泌液・血液に直接触れない！



## 4. HIV の検査について



- ・ 大阪検査相談・啓発・支援センター（愛称＝chotCAST なんば）
- ・ 保健所
- ・ 保健センター

## 5. HIV 感染の予後

- ・ HIV 感染＝エイズではありません
- ・ HIV 感染＝死ではありません
- ・ HIV 感染＝人生の終わりではありません



## 6. HIV 治療継続への支援

大阪府内の HIV 診療拠点病院（16 カ所）には HIV 専門の医療チームがいます



- |                  |                  |                  |                  |                     |                     |                     |                     |
|------------------|------------------|------------------|------------------|---------------------|---------------------|---------------------|---------------------|
| 国立大阪医療センター       | 大阪市立総合医療センター     | 市立病院             | 大阪府立急性期・総合医療センター | 国立刀根山病院             | 国立大阪南医療センター         | 国立近畿中央胸部疾患センター      | 大阪大学医学部附属病院         |
| 大阪市立総合医療センター     | 市立病院             | 大阪府立急性期・総合医療センター | 国立刀根山病院          | 国立大阪南医療センター         | 国立近畿中央胸部疾患センター      | 大阪大学医学部附属病院         | 大阪市立大学医学部附属病院       |
| 市立病院             | 大阪府立急性期・総合医療センター | 国立刀根山病院          | 国立大阪南医療センター      | 国立近畿中央胸部疾患センター      | 大阪大学医学部附属病院         | 大阪医科大学附属病院          | 関西医科大学附属病院          |
| 大阪府立急性期・総合医療センター | 国立刀根山病院          | 国立大阪南医療センター      | 国立近畿中央胸部疾患センター   | 大阪大学医学部附属病院         | 大阪医科大学附属病院          | 関西医科大学附属病院          | 近畿大学医学部附属病院         |
| 国立刀根山病院          | 国立大阪南医療センター      | 国立近畿中央胸部疾患センター   | 大阪大学医学部附属病院      | 大阪医科大学附属病院          | 関西医科大学附属病院          | 近畿大学医学部附属病院         | 大阪府立呼吸器・アレルギー医療センター |
| 国立大阪南医療センター      | 国立近畿中央胸部疾患センター   | 大阪大学医学部附属病院      | 大阪医科大学附属病院       | 関西医科大学附属病院          | 近畿大学医学部附属病院         | 大阪府立呼吸器・アレルギー医療センター | 東大阪市立総合医療センター       |
| 国立近畿中央胸部疾患センター   | 大阪大学医学部附属病院      | 大阪医科大学附属病院       | 関西医科大学附属病院       | 近畿大学医学部附属病院         | 大阪府立呼吸器・アレルギー医療センター | 東大阪市立総合医療センター       | りんくう総合医療センター        |
| 大阪大学医学部附属病院      | 大阪医科大学附属病院       | 関西医科大学附属病院       | 近畿大学医学部附属病院      | 大阪府立呼吸器・アレルギー医療センター | 東大阪市立総合医療センター       | りんくう総合医療センター        | 星ヶ丘医療センター           |

## HIV の治療

### 内服薬



長期的な治療の支援

- ・ 自立支援医療
- ・ 重度心身障害者医療費支給制度
- ・ 身体障害者手帳
- ・ 介護保険



- ・ HIV 陽性者の高年齢化で介護が必要
- ・ 後遺症が残るケースに在宅看護・介護

介護職に求められること

- ①スタンダード・プリコーション  
(標準予防策)
- ②あたたかなケア
- ③守秘義務
- ④服薬支援



8. ケアの前後に手洗いとうがい



正しい手の洗い方

手洗いの前に

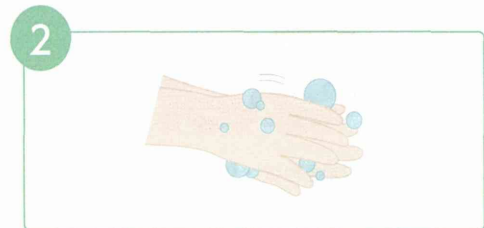
- ・ 爪は短く切っておきましょう
- ・ 時計や指輪は外しておきましょう

正しい手の洗い方



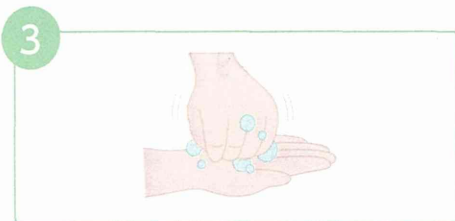
流水でよく手をぬらした後、石けんをつけ、手のひらをよくこすります。

正しい手の洗い方



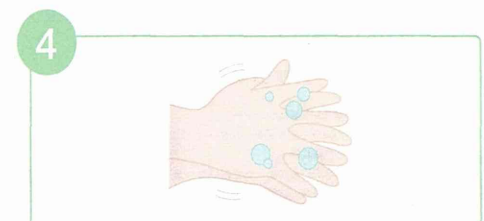
手の甲をのばすようにこすります。

正しい手の洗い方



指先・爪の間を念入りにこすります。

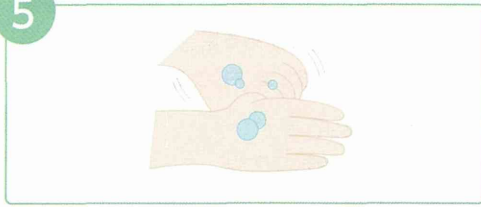
正しい手の洗い方



指の間を洗います。

正しい手の洗い方

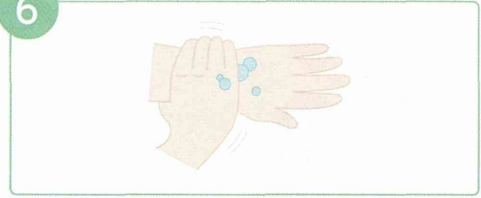
5



親指と手のひらをねじり洗います。

正しい手の洗い方

6



手首も忘れずに洗います。

正しい手の洗い方

つめ 汚れが残しやすいところ



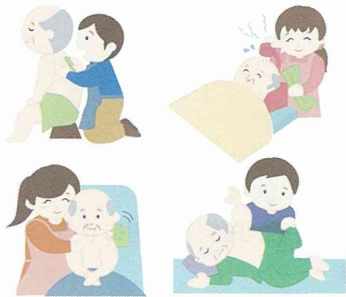
石鹸で洗い終わったら、十分に水で流し、清潔なペーパータオルでよく拭いて、乾かします。

必要に応じて、アルコール入りの手指消毒剤を使用

手袋が必要ない場合

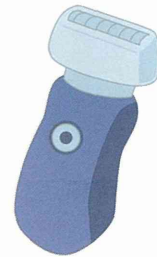


清潔ケア、更衣のケア (手袋不要)



ひげそり (手袋不要)

本人専用の電動ひげそりを使うようにします



洗濯 (手袋不要)

- ただし血がついたものは、手袋を着用してから、水道水で水洗いして、血の汚れを落としてから、普通どおりに洗濯機で洗います
- 血液でかなり汚れているものは、B型肝炎の場合と同様、0.5%次亜塩素酸ナトリウム(ハイターなど)に30分以上浸してから、普通どおりに洗濯します



体位変換 (手袋不要)

